



風水害に備えましょう

☎ 防災危機管理課 ☎ 21-2255

これから風水害が多発する時期を迎えます。その前に、各家庭で集中豪雨や台風などの正しい知識を身に付けましょう。今年の防災は、新型コロナウイルス感染症対策についても考えなければなりません。下記のことを気付けて、事前の対策を行い、被害を最小限に抑えましょう。



警戒レベルについて

新型コロナウイルス感染防止を考慮した避難と備えのポイント

避難…事前にハザードマップなどで、お住まいの場所の危険度について確認しましょう。

①在宅避難

浸水や土砂災害の危険性が無く自宅に留まることが可能な場合は、自宅で避難生活を送るための災害用備蓄などに努めてください。

②親戚や友人宅などへの避難 **[新型コロナウイルス感染症対策としての避難方法]**

自宅以外の避難生活が必要な人は、避難所が過密状態になることを防ぐため、できる範囲で県内にお住まいの親戚や友人宅などへの避難を検討してください。

③避難所への避難

※①や②が難しい場合、ハザードマップなどに掲載された避難所一覧から避難先をご確認ください。災害の規模により一部の避難所のみを開設する場合には、事前にホームページなどでお知らせします。





備蓄…非常持ち出し品 **[新型コロナウイルス感染症対策としての持ち出し品]**

避難所などへ避難される場合は、非常持ち出し品を準備してください。ハザードマップなどに掲載されている物のほか、新型コロナウイルス感染症対策として次のような物もご持参ください。

感染症対策用品の例 体温計、マスク、アルコール消毒液、石けん、(ペーパー)タオル、使い捨て手袋、ハイターなどの消毒剤、換気のための避難所の窓開放に備えた防寒・熱中症対策用品、筆記具

※今般の状況下で、特に「マスク」や「アルコール消毒液」については、市が各避難所へ準備することが確約できません。お持ちの方は必ずご持参ください。

風水害における「警戒レベル」を用いた避難情報

※避難とは安全を確保することです。安全な場所にいる人は、避難する必要はありません。	どんな情報が出るの？	どんな時に出すの？	何をしたらいいの？
	警戒レベル5 災害発生情報 	市内で大きな災害が発生している時(市)	命を守る最善の行動 ※避難所へ避難することが危険だと判断した場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全なところへ移動する行動をとりましょう
	警戒レベル4 避難指示(緊急) 	重ねて避難を促す必要がある時(市)	危険な場所にいる人は、全員避難
	警戒レベル4 避難勧告 	避難が必要な時(市)	
	警戒レベル3 避難準備・高齢者等避難開始 	警報発表の時や、高齢者などは避難を始める必要がある時(市)	危険な場所にいる高齢者など移動に時間がかかる人は、避難を開始し、そのほかの人は避難の準備
	警戒レベル2	注意報発表の時(気象庁)	避難場所や避難袋の確認
	警戒レベル1	近々警報が出るかもしれない時(気象庁)	災害への心構え